

## 7 . 堰と周辺地域との関わり

## 7.1 堰周辺の概況

### 7.1.1 堰周辺地域の概要

#### (1) 概要

加古川はその源を丹波、但馬、播磨の境界に連なる丹波市青垣町の粟鹿山(962m)に発し、遠阪川、葛野川、柏原川、牧山川、岩屋谷川等を合わせながら氷上低地、柏原盆地を南流し、丹波市山南町井原において、加古川水系の支川としては最大の流域面積を有する篠山川と合流する。さらに、その後、杉原川、野間川等を合わせ、西脇市と加東市との市界付近より国土交通大臣管理区間を流れて東条川、万願寺川、美嚢川等を合わせ、加古川市、高砂市の市界において播磨灘に注ぐ一級河川である。

その流域面積は、約 1,730km<sup>2</sup> で兵庫県内の 11 市 2 町を包含する。

加古川の河口から約 12km 上流にある加古川大堰は、洪水の安全な流下と利水補給を目的としており、堰及びその貯水池は加古川市内に位置している。



図 7.1-1 加古川大堰周辺の概況

(2) 人口

加古川市及び加古川大堰より下流で加古川を境界に加古川市と接している高砂市の人口及び世帯数は図 7.1-2 に示すとおりである。

加古川市、高砂市の人口は平成 7 年までは増加傾向であったが、平成 7 年以降は横這いとなっている。一方で、世帯数は現在においても増加傾向にあり、核家族化、一世帯当たり人員の減少が進行していると考えられる。

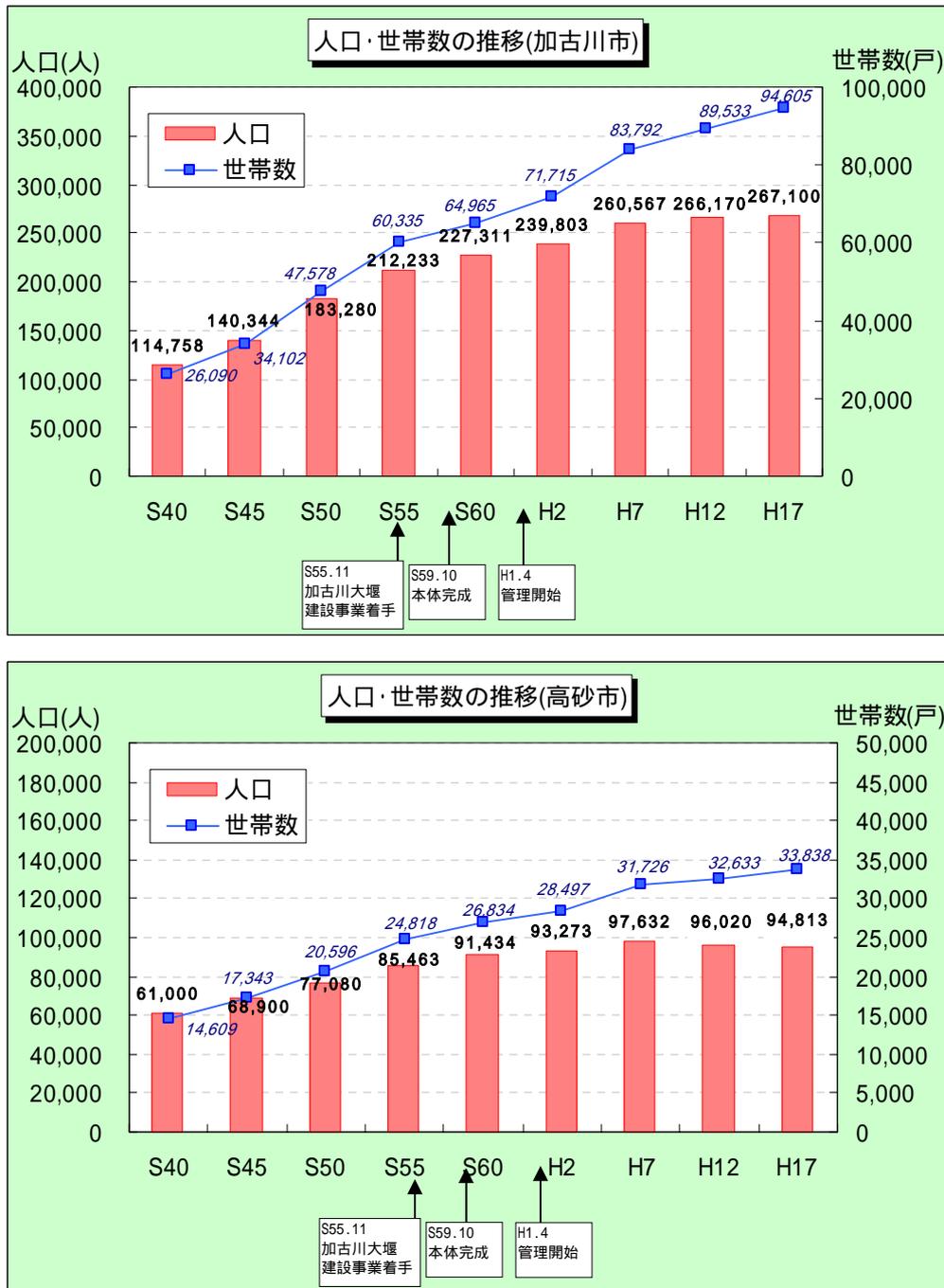


図 7.1-2 加古川市、高砂市の人口及び世帯数の推移

(出典:資料 7-1)

### (3) 産業

加古川市、高砂市の産業別就業者人口の推移は、図 7.1-3 に示すとおりである。

就業者人口は両市とも平成 7 年をピークに減少傾向となっている。

産業別では、第 3 次産業の就業者人口が全体の 60%以上を占めるが、第 1 次産業は極端に少なく、加古川市で約 1%、高砂市では約 0.5%程度となっている。

加古川大堰から工業用水を補給している第 2 次産業については、管理開始以降も増加していたが平成 7 年をピークに平成 12 年、平成 17 年と減少傾向となっている。

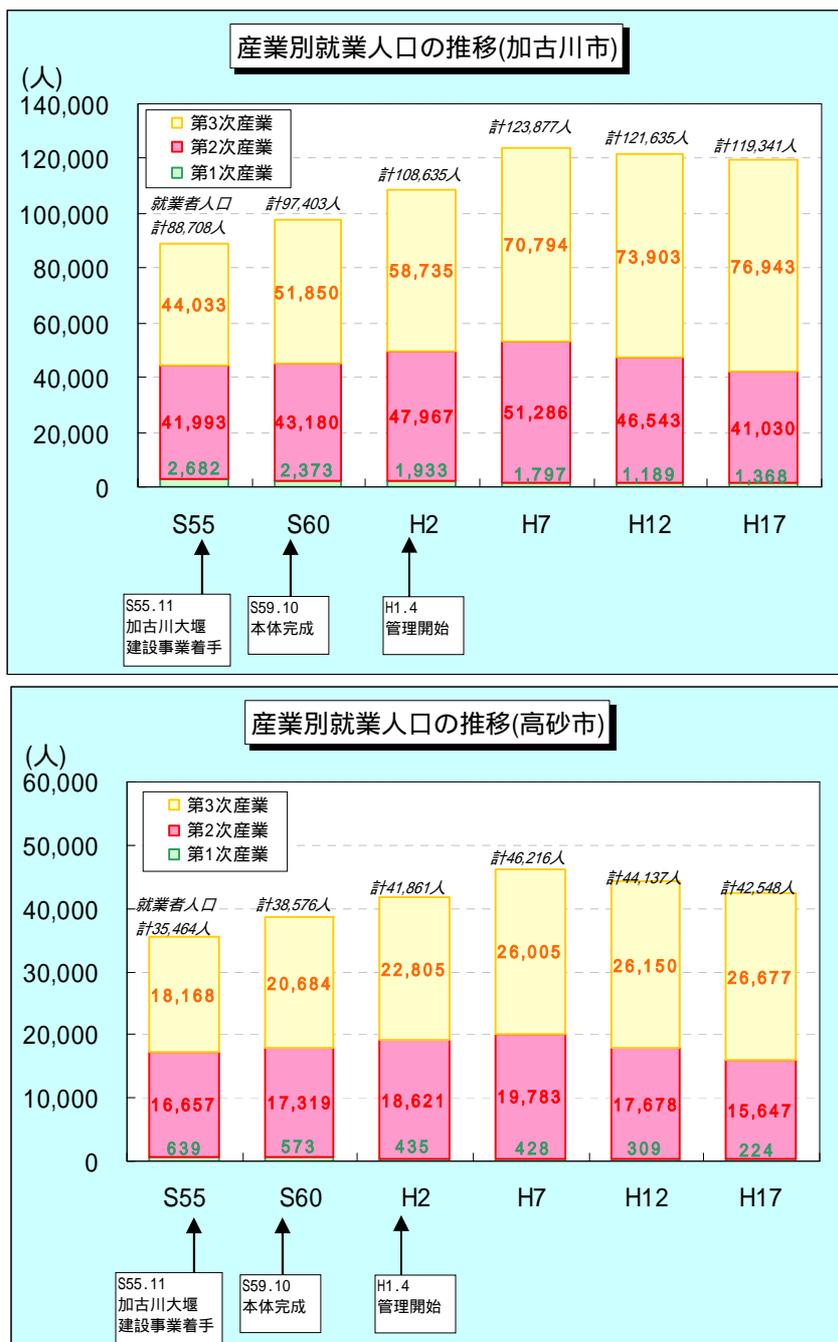


図 7.1-3 加古川市、高砂市の産業別就業者人口の推移

(出典:資料 7-1)

## 7.1.2 堰の立地特性

### (1) アクセス性

加古川市は、大阪府より 100km 圏内に位置し、神戸市街より西約 50km、姫路市街より東約 20km に位置する。加古川は加古川市のほぼ中心部を貫流する河川で、加古川大堰は河口から 12km の地点に位置している。

交通網は図 7.1-4 に示すとおりで、海岸線に平行し、鉄道、主要道路が通り、加古川沿いに主要道路や鉄道が通っている。

加古川大堰へのアクセスは、電車でのアクセスでは JR 加古川線「やくじん」駅から約 1.5km、「かんの」駅から約 1.5km となっている。

自動車では、加古川バイパス加古川ランプより北へ約 8km、山陽自動車道「三木小野」インターチェンジより約 8km となっている。



図 7.1-4 加古川大堰周辺の交通網

(2) 周辺の観光施設(スポット)等の状況

加古川流域の観光スポット等については、表 7.1-1、図 7.1-5 に示すとおりである。

加古川大堰周辺では、加古川市内の「鶴林寺」、加古川河口部の「高砂海浜公園」などがある。

表 7.1-1 観光地等の概要

観光地等名称	所在地	概要
薬草薬樹公園	丹波市	園内には約 250 種類の薬草薬樹が栽培されています。オリジナルの薬草風呂、薬膳料理などを堪能できる。
水分れ公園	丹波市	降った雨が日本海側と瀬戸内海側に分れ、両方で川を形成する特殊な場所。園内には「水分れ資料館」もある。
ガルテン八千代	多可町	フランス料理レストランを備えたレクリエーションエリア。各種スポーツや特産物の加工体験などができる。
五百羅漢	加西市	羅漢寺の境内には、様々な顔をした 400 体以上の石仏がひしめいている。いつ誰がなぜ制作したのか、全てが謎となっている。
滝野温泉ぼかぼ	加東市	闘龍灘をイメージした浴室や、屋形船風呂、洞窟風呂など、趣向をこらした湯船を豊富に備えている。
高砂海浜公園	高砂町	白砂青松の高砂の浜を再現した公園。釣りや潮干狩り、人口島の散歩などに四季を通じて多くの人を訪れている。
鶴林寺	加古川市	聖徳太子ゆかりの太子堂は、国宝に指定された県下最古の木造建築。平安時代に描かれた壁画が発見されている。
浄土寺	小野市	堂内の阿弥陀三尊像は、鎌倉時代の有名な仏師、快慶の作。本堂、三尊像のいずれも国宝に指定されている。
グリーンピア三木	三木市	大規模な保養エリアには、レーザー気分が味わえるグランプリカートなど、多種多彩な設備がそろっている。
日本へそ公園	西脇市	日本の“へそ”(中心)に位置する公園。美術館、科学館などの知的アミューズメント施設がある。
春日神社	篠山市	春日神社境内に建てられた、全国屈指の野外能舞台。春の春日能をはじめ、年 3 回、雅びな能が演じられている。

(出典:資料 7-2)



図 7.1-5 加古川流域の観光地等の位置

(出典:資料 7-2)

## 7.2 堰事業と地域社会情勢の変遷

加古川大堰関連事業と地域社会情勢との変遷の概況は表 7.2-1 に示すとおりである。

加古川市の社会基盤整備は昭和 40 年代頃までに急速に進められ、加古川大堰の建設も昭和 50 年代より開始している。平成元年に加古川大堰が管理を開始してからは、貯水池を利用した漕艇利用(レガッタなど)や加古川河川敷を利用したイベント活動(マラソン大会など)も盛んに行われている。

表 7.2-1 加古川大堰事業と地域(加古川市)社会情勢の変遷

年	加古川大堰関連事業	住民活動・交流活動 地域の出来事	その他	
昭和 40 年 代まで	S25		6月 加古川市 市制施行	
	S27		7月 豪雨による水害(床上・床下浸水 2,918 戸)	
	S28	8月 第 1 回川まつり開催	4月 上水道の給水はじまる	
	S33		4月 山陽本線、明石-姫路間電化開通	
	S35		4月 上荘橋竣工	
	S40		9月 台風 23 号襲来、災害救助法適用	
	S41		7月 加古川工業用水道平荘湖竣工	
	S42		1月 臨海部の埋め立てはじまる	
	S43	3月 予備調査実施		3月 播磨国道(加古川バイパス)開通
S45				
S50 ~ 60 年代	S51		12月 加古川河川敷公園内のテニス、バレーコート開放 12月 第 1 回農業祭	
	S54	2月 実施計画調査		
	S55	11月 工事用道路付替工事を開始		
	S56	3月 基本計画告示 11月 大堰本体工事着手		
	S59	10月 本体が概成する		
	S60	10月 美の川落差工築造工事の着手 11月 草谷川水門築造工事に着手		
	S61	11月 五ヶ井堰の撤去工事に着手		
	S62	4月 試験湛水を開始		
平成元年 ~	H元	4月 加古川大堰管理開始 7月 竣工式		
	H2		2月 第 1 回加古川マラソン大会を開催 11月 第 1 回加古川ソーデーマーチを開催 11月 第 1 回関西学生・加古川レガッタを開催	
	H6		11月 ソーデーマーチを日本マージングリーグ公式大会として開催	
	H7		8月 「全国川サミット in 加古川」を開催	1月 阪神・淡路大震災が発生
	H8		4月 加古川大堰右岸に加古川市立漕艇センターを開設	
	H12		6月 ウェルネス都市を宣言	
	H13		1月 2 世紀マラソンを開催	
	H15			5月 JR 山陽本線の加古川駅周辺の高架が完成

(出典:資料 7-3,7-4)

## 7.3 堰と地域の関わりに関する評価

### 7.3.1 地域における堰の位置づけに関する整理

#### (1) 加古川市総合計画(平成 18 年版)

平成 22 年を目標年次とした「加古川市総合計画」において、「ひと・まち・自然がきらめく清流文化都市 加古川」をテーマに、加古川市の将来計画がまとめられている。

加古川大堰に関わる内容として、上水道の充実、加古川(河川敷や貯水池)のスポーツ・レクリエーション利用などが挙げられており、加古川及び加古川大堰が、今後の加古川市にとって重要な役割を担っていると考えられる。

#### 1) 上水道の充実

加古川市内で、唯一加古川大堰から取水した水を水源として市内に水供給を行う「中西条浄水場」は、市内の給水量の約 8 割を担っており、更に災害に強い水道施設の充実などが期待されている。以下は、加古川市総合計画からの抜粋である。

### 3 上水道の充実

#### ■ 現状と課題

本市の上水道事業は、昭和28年(1953年)に給水を開始して以来、安全で良質な水を安定して供給することを最大目標として、老朽化した配水管の布設替を積極的に推進するとともに、配水管の耐震化に努めるなど水道施設の充実を図ってきました。

さらには、水質検査の強化による良質な水の供給や経営効率化等推進計画に基づき、人員の削減や一部事業の民間委託の導入など水道事業の経営健全化や経営効率化にも取り組んできました。

今後は、ライフラインの確保を磐石なものとするため、災害に強い水道施設整備など施設の充実を図ることが課題です。

また、簡易水道の上水道事業への一元化を継続して進め、安全で良質な水の安定供給に取り組むとともに、インターネットによる開栓、閉栓など市民サービスのさらなる向上を図ることも必要です。

#### ■ 基本方針

安全で良質な水の安定した供給をめざし、計画的な施設整備や効率的な事業経営を進めます。

#### ■ 施策の展開

##### ① 水道施設の充実

- ・ 中西条浄水場の整備更新を進め、引き続き安定した水供給に努めます。
- ・ 漏水の防止 - 早期発見に努めるとともに、老朽管の解消に取り組みます。
- ・ 災害に強い施設整備を図るため、配水管や配水池、管理施設等の整備に努めます。
- ・ 加古川市内簡易水道協議会との連携を図りながら、簡易水道事業の上水道事業への統合を促進します。

##### ② 水質の向上

- ・ 広域的な原水の水質監視や検査体制の充実等により、安全性の確保に努めます。
- ・ 原水の水質の動向を見極めながら、高度浄水処理について検討します。
- ・ 給水管の取り替えを計画的に実施します。



中西条浄水場

加古川市総合計画 p171  
- 第2編各論  
- 第5章人と環境にやさしいまちを  
めざして  
- 第2節快適な生活環境の創出  
- 3 上水道の充実  
より

図 7.3-1 上水道の充実に関する計画(総合計画より転記)

(出典:資料 7-5)

## 2) スポーツ・レクリエーション活動の拠点

「豊かな心をはぐくむまちをめざして」問い各論の中で、「スポーツ・レクリエーションの振興」計画において、加古川大堰周辺や貯水池が利用される「加古川ツーデーマーチ」「加古川マラソン」「レガッタ」などのスポーツイベントの推進を行うこととしている。

加古川大堰は、地域におけるスポーツ拠点としても重要な役割を担っているだけでなく、憩いの場、交流の場としても期待されている。

以下は、加古川市総合計画からの抜粋である。

### 第3節 スポーツ・レクリエーションの振興

#### 1 スポーツ・レクリエーション活動の推進

##### ■ 現状と課題

スポーツ・レクリエーションに対する市民ニーズが高まるなか、本市では、加古川ツーデーマーチや加古川マラソン、加古川市民レガッタなどのイベントや各地域でのスポーツ・レクリエーション活動を振興し、市民の健康づくりや余暇活動の充実に努めてきました。

このようななか、平成15年（2003年）には総合型地域スポーツクラブが市内28小学校区すべてで本格的に活動をはじめると、市民主体のスポーツ・レクリエーション団体の活動は盛んになっています。

一方、施設面では、平成17年（2005年）、新総合体育館が開館するなど「ウェルネス都市・加古川」の実現に向けた環境も整ってきました。

今後は、スポーツ指導体制の充実やスポーツイベントの開催などをとおして、市民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動をさらに促進していくことが課題です。

##### ■ 基本方針

市民のたれもが、生涯にわたるスポーツ・レクリエーションに親しめる機会を充実するとともに、市民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進します。

##### ■ 施策の展開

###### ① スポーツ・レクリエーション活動の普及

- 総合型地域スポーツクラブの活動と自主的な運営を促進します。
- スポーツ指導者を養成するとともに、その資質を高めます。
- 市民への適切なスポーツ指導をおこないます。
- スポーツドクターによる健診、相談体制の充実に努めます。
- 野外活動の充実を図るため、施設の整備や新たなプログラムの開発を進めます。
- 権現総合公園や、みとろフルーツパークなど既存の施設等を有効に活用したレクリエーション活動を促進します。



###### ② 魅力あるスポーツ・レクリエーションイベントの開催

- 加古川ツーデーマーチや加古川マラソン、加古川市民レガッタなどイベントへの参加者の増加に努めます。
- 各種大会の計画、運営等に、多くの市民ボランティアが主体的に参加できるよう取り組みます。
- 市民に夢と感動を与える競技スポーツの振興をめざし、第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」をはじめ、さまざまなスポーツ活動機会の提供に努めます。

###### ③ スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

- たれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりをめざし、既存施設の整備・改修を計画的に進めます。
- グランドゴルフなどスポーツ人口が拡大しているニュースポーツについて、環境整備を進めます。
- 生涯学習スポーツの振興のため、学校グラウンド等への夜間照明設備の導入を進めます。

加古川市総合計画 p141～142  
- 第2編各論  
- 第3章豊かな心をはぐくむまちをめざして  
- 第3節スポーツ・レクリエーションの振興  
より

図 7.3-2 スポーツ・レクリエーションの振興に関する計画(総合計画より転記)

(出典:資料 7-5)

## (2) わがまち加古川 50 選

加古川市のホームページでは、加古川市民が選ぶおすすめの 50 カ所を紹介しており、この中に「加古川大堰」が紹介されている。

ホームページ(加古川市商工労政課:<http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/map/50sen.html>)での紹介の様子を以下に示す。



### 以下、紹介文

一級河川「加古川」は流域面積 1,730km<sup>2</sup>、幹川流路延長 96km の県下最大の川で、8 市 17 町をうるおしています。大堰は長さ 422.5m で、加古川の左岸八幡町から右岸上荘町に渡っています。治水と水需要に対処するため、9 年の歳月を経て平成元年 3 月に完成しました。大堰上流の水面を利用して、レガッタの大会など各種行事が行われています。左岸にある大堰の事務所(建設省大堰詰所)の南側には「大堰記念公園」があり、加古川の流れを望む憩いの空間となっています。

図 7.3-3 加古川市ホームページ「わがまち加古川 50 選」における加古川大堰の紹介

(出典:資料 7-4)

(3) 地域における堰の位置づけに関する整理

加古川大堰が位置する加古川市では、市の基本方針を「ひと・まち・自然がきらめく清流文化都市 加古川」として、加古川と共生する都市計画を策定している。

この中で、加古川大堰及び貯水池について、将来においても災害に強い水源としての位置づけや漕艇利用を中心とするスポーツ・レクリエーション利用の拠点としての位置づけが述べられている。

加古川大堰は、日常の管理を通じ地域への重要な水供給源として機能するだけでなく、河川敷や湖面など地域の憩いの場、交流の場としての役割も担っている。

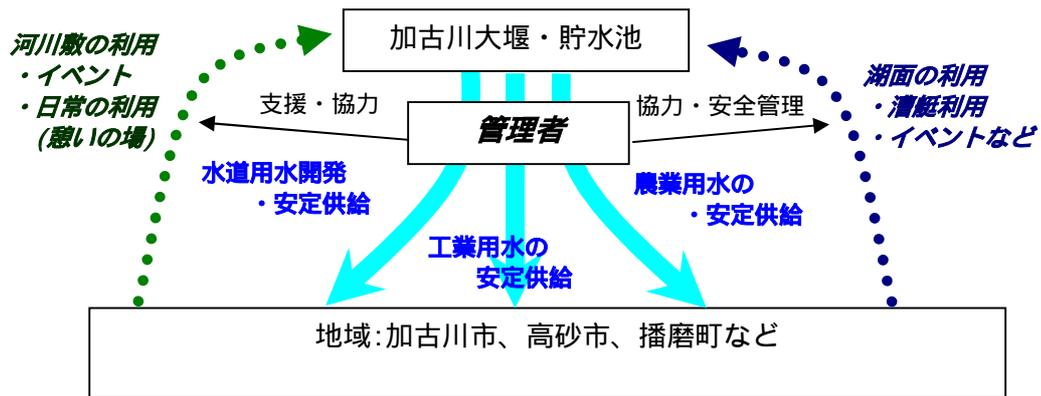


図 7.3-4 地域における加古川大堰の位置づけ

### 7.3.2 地域と堰管理者の関わり

#### (1) イベントの開催・協力

加古川大堰の貯水池では、毎年多くの漕艇のイベントが開催されている。平成 18 年度の実施状況は表 7.3-1 に示すとおりであり、「加古川市民レガッタ」や学生の選手権大会でもある「加古川レガッタ」などが開催されている。

堰管理者は、イベント会場を提供するだけでなく、運営協力、安全管理などを行い、主催者や地域との連携を図っている。

表 7.3-1 加古川大堰貯水池を利用したイベント実施状況(平成 18 年度実績)

開催日	イベント名	参加人数	主催者
4月23日	親睦レガッタ	138人	加古川市ウェルネス協会 スポーツ事業部 加古川スポーツセンター
5月21日	加古川市長杯ボート競技大会	200人	加古川ボート協会
6月25日	兵庫県体育大会漕艇競技大会	171人	兵庫県ボート協会
8月5～6日	加古川市民レガッタ	1,188人	加古川レガッタ実行委員会
8月20日	関西熱化学社内大会	250人	関西熱化学(株)
9月24日	理事長カップボート大会	67人	加古川市ウェルネス協会 スポーツ事業部 加古川スポーツセンター
10月15日	神戸製鋼親睦レガッタ大会	100人	神鋼労働組合加古川支部
10月22日	親睦レガッタ	153人	加古川市ウェルネス協会 スポーツ事業部 加古川スポーツセンター
11月3～4日	加古川レガッタ (関西学生秋季選手権)	2,200人	加古川レガッタ実行委員会
12月4日	第27回高砂マラソン	480人	高砂市体育協会など
12月23日	第18回加古川マラソン	約3,400人	兵庫県陸上競技協会など

また、毎年夏期(7月)には、国土交通省姫路河川国道事務所が主催者となって、「河川愛護月間」「川の日」「森と湖に親しむ旬間」などのイベントを開催し、地域との交流を図るなど、地域に向けたイベント活動を積極的に実施している。

## (2) 見学会の実施

地域の小中学校では、総合学習の一環で加古川大堰の見学を取り入れているところもあり、学校での来訪がある。

加古川大堰では、見学者の学年に応じて、役割や機能、地域における位置づけなどをわかりやすく説明するとともに、「水の大切さ」「環境の大切さ」について学ぶ場を提供している。

学校からは図 7.3-5 に示すような感謝の便りが多く届き、学校などの教育機関と堰管理者との連携により、重要な総合学習の場と機会として地域に貢献している。

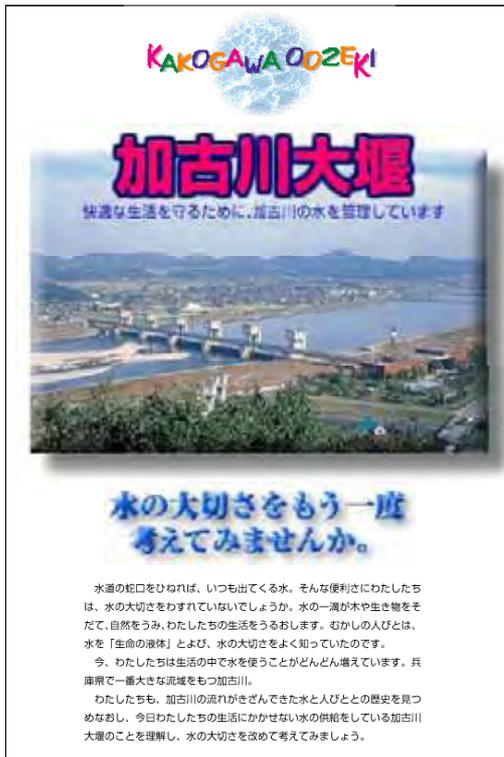


図 7.3-5 加古川大堰に届いた学校からの感謝の「便り」

### (3) 地域への情報提供

国土交通省姫路河川国道事務所では、パンフレットのほか、インターネットを活用し、地域住民や来訪者に向けた情報提供を行っている。

加古川大堰の役割や、重要性についての情報、堰周辺の環境などの状況についてわかりやすく解説し、一般の人でも易しく学べる工夫をしている。



加古川大堰の役割や周辺の状況についてわかりやすく解説している。

堰操作のシミュレーションゲームを通じ、堰の運用の難しさ、役割などについて学習できるサービスを提供している。



図 7.3-6 インターネットでの情報提供

(出典:資料 7-8)

## 7.4 堰周辺の状況

### 7.4.1 周辺環境整備等の状況

加古川大堰周辺では、堰の左岸側に「管理棟周辺」及び「大堰記念公園」の2箇所の周辺環境整備を実施している。

それぞれの整備状況は図7.4-1に示すとおりである。

#### (1) 管理棟周辺

管理棟周辺は、加古川下流部の流水管理の中心にふさわしい環境整備として、以下の基本方針で整備を行った。

- ・大堰の維持管理機能を損わないこと。
- ・周辺の河川、地域空間とマッチした“みどりの空間”を創出すること。
- ・季節感が感じられ、豊かな情景のある植栽計画とすること。
- ・地形変化をつけ、スケール感のある空間とすること。

ゾーニング計画にあたっては、管理棟および周辺の施設の本来の機能に十分に配慮するとともに、管理用の大型トレーラー、見学バス等の大型車両の通行ならびに調和のとれた修景が確保出来るよう配慮した。

#### (2) 大堰記念公園

大堰管理棟下流部左岸(11.6k付近)の面積約0.42haの敷地を加古川大堰記念公園として整備し、大堰事業で撤去される五ヶ井堰、上部井堰にまつわる施設、モニュメントを建設した。

大堰記念公園は以下の基本方針で整備を行った。

- ・記念公園の名にふさわしい修景、植栽計画とする他、撤去される堰にまつわる事柄をイメージするモニュメントを計画する。
- ・周辺住民の日常的な利用ならびに将来の加古川大堰周辺河川緑地の中心的な部分となるよう計画する。
- ・広域的な利用を考慮して駐車スペースも計画する。

(出典:資料7-3)

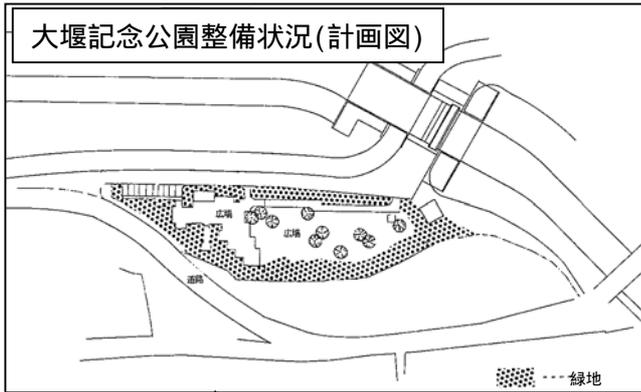
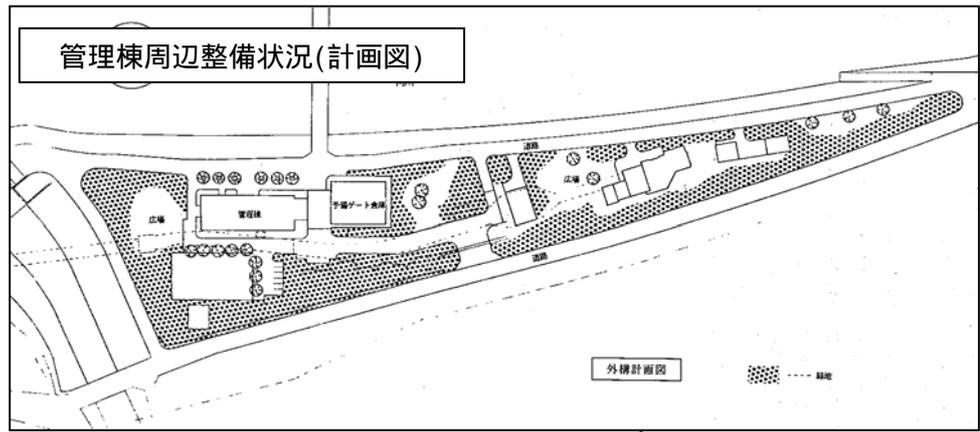


図 7.4-1 加古川大堰周辺環境整備の状況  
 (出典:資料 7-3(:計画図)、資料 7-6(:写真))

#### 7.4.2 堰周辺の施設の利用状況

加古川大堰の上流部には、加古川をレガッタのメッカにしていこうとの目的で設置された「加古川市立漕艇センター」があり、貯水池は漕艇場として多くの利用が行われている。

大堰上流部は川幅 200m、水深 2～5m、直線 2,000m 等の諸条件がボート競技に適しており、日本漕艇協会から公認コース B 級(1000m×5 レーン)の認定を受けており、市内外から多数の参加がある夏の加古川市民レガッタ、秋の加古川レガッタ（関西学生リーグ）などのイベントの拠点となっている。

利用者数の推移は図 7.4-2 に示すとおりであり、平成 12 年をピークに減少したが、平成 17 年より再び増加しており、平成 18 年は賃艇、停泊合わせて約 14,000 人の利用があった。

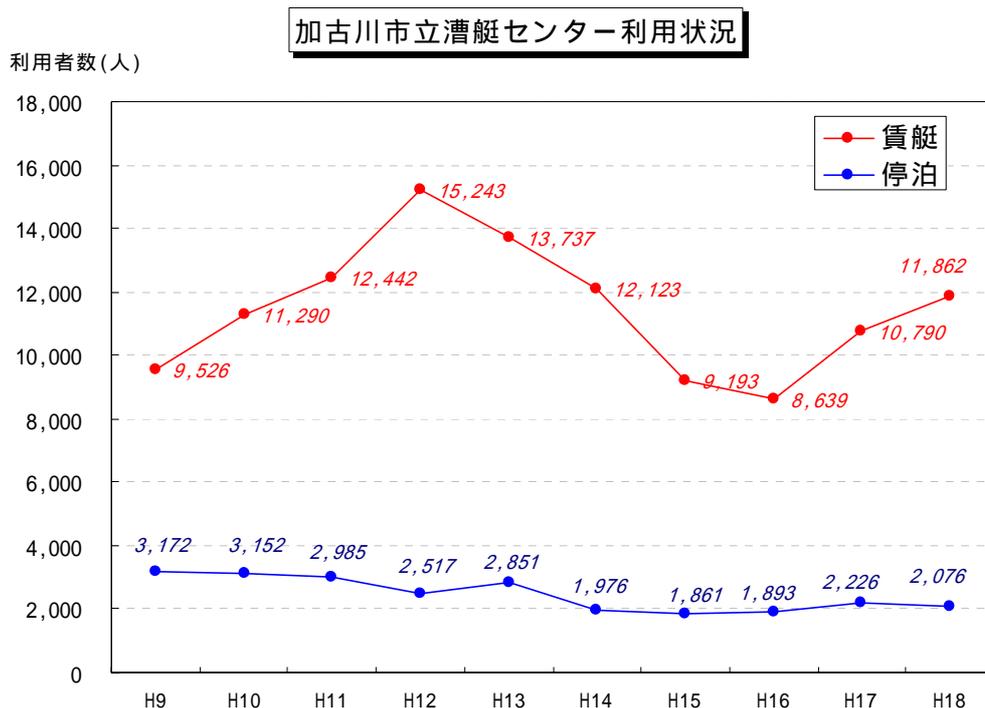


図 7.4-2 加古川市立漕艇センター利用者数の推移

7.4.3 堰及び周辺のイベント等の開催状況

加古川大堰周辺では、漕艇大会や、加古川河川敷を利用したマラソン大会など、毎年様々なイベントが開催されている。

表 7.4-1 加古川大堰周辺で開催されている主なイベント等

開催時期	イベント等名称	主催者
5月中旬	加古川市長杯ボート競技大会	加古川ボート協会
6月下旬	兵庫県民体育大会漕艇競技大会	兵庫県教育委員会
〃	兵庫県国体予選	兵庫県ボート協会
7月	河川愛護月間	国土交通省姫路河川国道事務所 他
7月7日	川の日	〃
7月21～31日	森と湖に親しむ旬間	〃
8月上旬	加古川市民レガッタ	加古川レガッタ実行委員会
8月第1土・日	加古川まつり	加古川市・加古川市観光協会
11月上旬	関西学生漕艇秋季リーグ戦	加古川レガッタ実行委員会
11月	ふるさとふれあいウォーキング	まちづくり懇談会加古川北会場実行委員会
11月中旬	加古川ツデーマーチ	加古川ツデーマーチ実行委員会・加古川市生活文化部生活文化課
12月23日	加古川マラソン大会	加古川マラソン大会実行委員会・加古川市教委委員会

(出典:資料7-8)

加古川マラソン 県内外から3400人

## 水辺に声援 健脚競う



【平成18年の加古川マラソン】  
平成18年12月24日(日) 神戸新聞

「第18回加古川マラソン大会」が23日、加古川の畔、加古川市生活文化課の協賛で開催され、県内外から約3400人が参加した。

(スポーツ編集)

ゲストに山口、大南選手ら

加古川市生活文化課の協賛で開催された「第18回加古川マラソン大会」が23日、加古川の畔、加古川市生活文化課の協賛で開催され、県内外から約3400人が参加した。

(スポーツ編集)

## 7.5 河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査)結果

### 7.5.1 河川空間利用実態調査結果

加古川では、3年毎に河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査)を行い、河川の利用状況を調査している。

ここでは、平成12年度、平成15年度、平成18年度の加古川全体の調査結果から、加古川大堰直下の河川敷(河口から10~12km区間)、及び貯水池に相当する区間(河口から12~16km区間)の結果を抽出し、利用状況を整理した。結果は図7.5-1に整理したとおりである。

なお、整理した利用者数は、年間7日間の調査日(春季3日、夏季2日、秋季1日、冬季1日)の実測値である。

加古川大堰付近の利用は、散策やスポーツ利用がメインであるが、平成15年度、平成18年度は、貯水池におけるスポーツ(漕艇)などの水面利用が多くなっており、加古川大堰の特徴的な利用形態が表れていると考えられる。

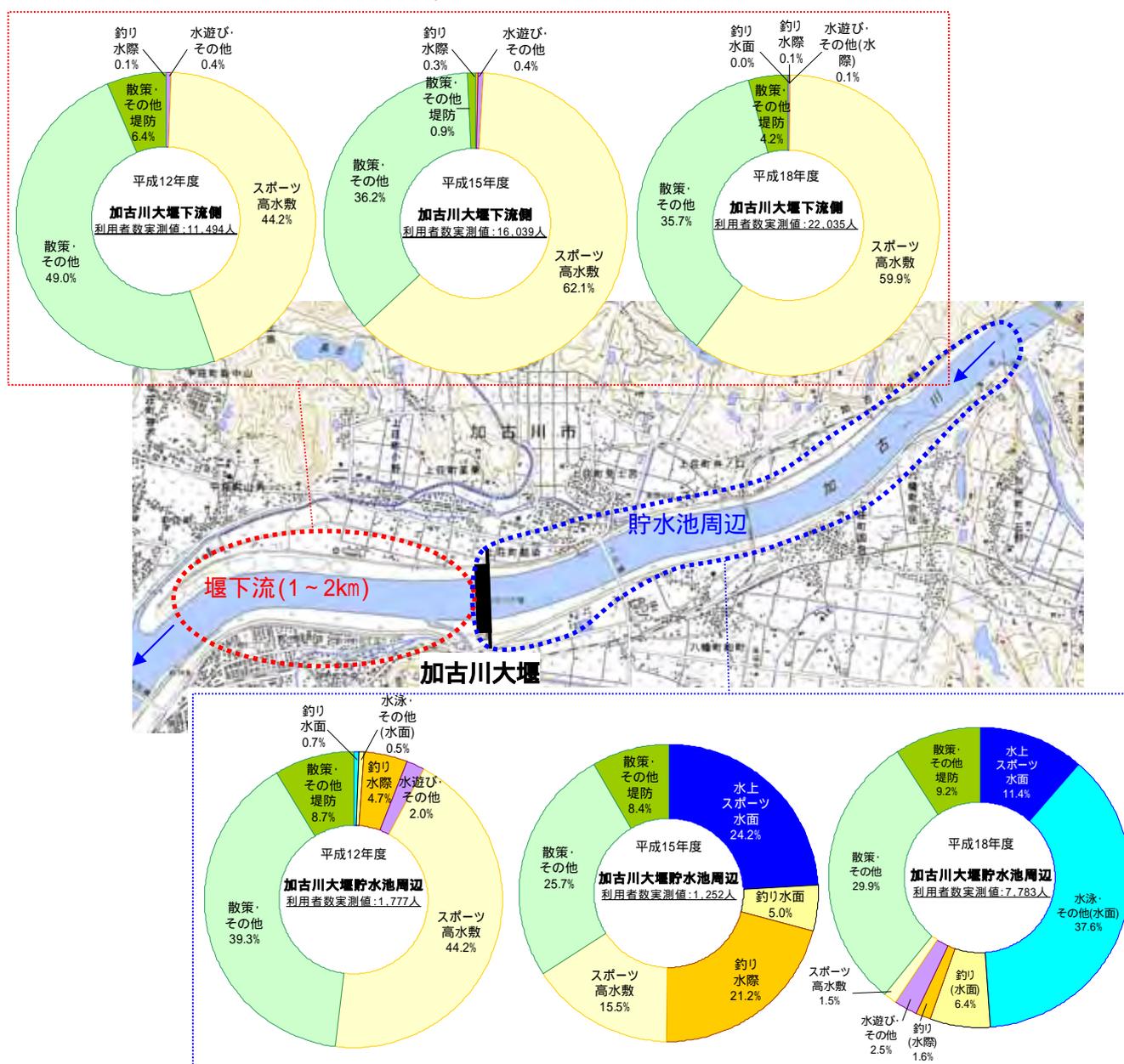


図 7.5-1 加古川大堰周辺の利用状況

(出典:資料 7-7 より 10km~12km,12~16km 地点を抜粋)

## 7.5.2 川の通信簿

### (1) 「川の通信簿」の概要

「川の通信簿」とは、河川内で利用が想定される箇所を選定し、市民と河川管理者が、現地において共同して河川の利用のしやすさを5段階で評価したもので、平成18年度に第1回目の調査を行った。

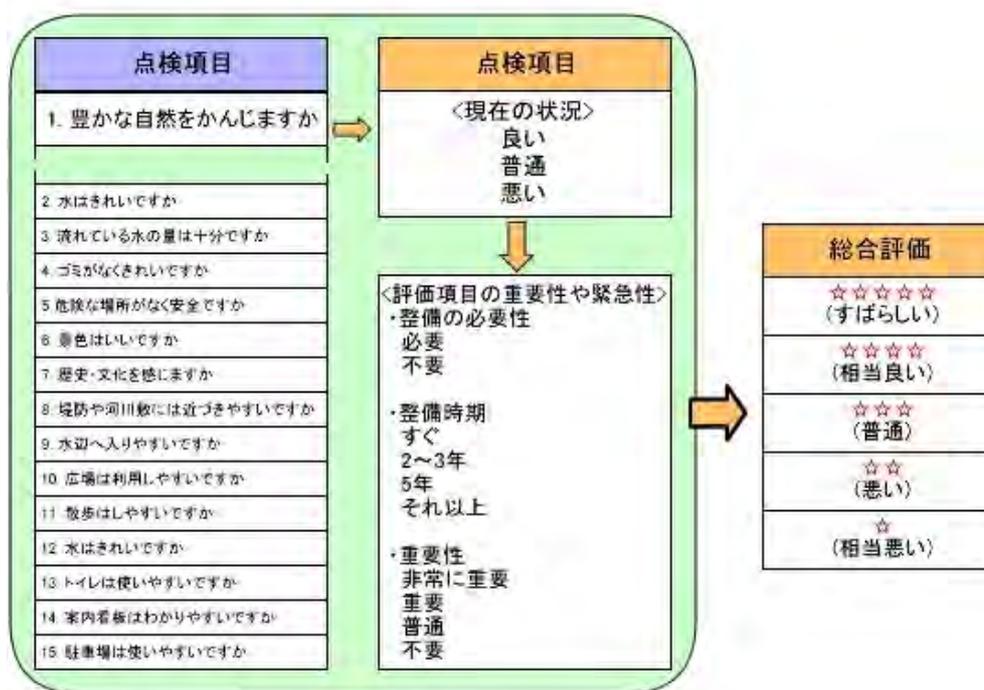
目的と点検項目は以下のとおりである。

#### 「川の通信簿」の目的

全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図る。

#### 「川の通信簿」の点検項目

15の点検項目があり、それらの重要度、良い悪いなどの状態、整備の必要性を点検し、最後に5段階評価を行っている。(下図参照)



この通信簿は、点検者が主観的に評価するものであり、川の優劣をつけるものではない。

図 7.5-2 川の通信簿の点検項目

(出典:資料7-8)

(2) 点検結果

加古川の川の通信簿より、図7.5-3に示す点検箇所から加古川大堰に近い、「加古川河川敷緑地(両荘地区)」と「加古川河川敷緑地(新神野地区)」の結果を示した。

結果はどちらも「(3つ星)」となり、「かなり良い部分があり、一定の満足感が味わえる」と評価した。



図7.5-3 「川の通信簿」点検箇所位置

(出典:資料7-8)

# 川の親しみやすさの成績表 川の通信簿

個所名:加古川 河川敷緑地(両荘地区)

ひろびろとしていて利用しやすい河川敷緑地

■加古川河川敷緑地(両荘地区)はこんな所:

河川名	1級河川加古川水系加古川右岸10.4K~12.0K
所在地	兵庫県加古川市平荘町里から上荘町都染地先
アクセス	JR神野駅から徒歩30分
面積	84,000m <sup>2</sup>
管理者	加古川市
特徴	両荘地区の河川敷緑地は、地理的条件から自動車で訪れる利用者が多く、そのための駐車場の整備が十分にされています。また、整備内容は多目的運動グラウンドとなっており、休日には各種スポーツ愛好家による利用が多いのが特徴です。
主な利用	散歩、球技、ジョギング
点検参加人数	20名



■平成18年現在の成績表 総合的な成績:

☆☆☆(三つ星)

かなり良い部分があり、一定の満足感が味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備必要 %	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか		○		50%			○	
2	水はきれいですか		○		35%			○	
3	流れている水の量は十分ですか		○		26%			○	
4	ゴミがなくきれいですか			○	85%		○		
5	危険な場所がなくて安全ですか		○		35%			○	
6	景色はいいですか		○		25%			○	
7	歴史・文化を感じますか		○		44%			○	
8	堤防や河川敷には、近づきやすいですか	○			40%			○	
9	水辺へ入りやすいですか		○		57%			○	
10	広場は利用しやすいですか		○		25%			○	
11	休憩施設や木陰は十分ですか			○	70%			○	
12	散歩はしやすいですか		○		20%			○	
13	トイレは使いやすいですか		○		42%			○	
14	案内看板はわかりやすいですか		○		47%			○	
15	駐車場は使いやすいですか		○		40%			○	

良い点

悪い点

■特に良い点:

- トイレや駐車場、水道があるので利用しやすい。
- 広く開放的でよい。
- 景色がよく、平坦なのでジョギングや散歩に最適。

■特に悪い点:

- ゴミに関してマナーが悪い人がいる。
- 河川敷でゴルフをする人がいて危険。

■総合コメント:

自然が多く、広々としているためスポーツには最適な緑地です。  
5つ星にするためにはゴミ対策のほかに、休憩施設の整備などの工夫が必要です。

図 7.5-4 両荘地区の「川の通信簿」

(出典:資料7-8)

# 川の親しみやすさの成績表 川の通信簿

個所名:加古川 河川敷緑地(新神野地区)

自然と調和した河川敷緑地

■加古川河川敷緑地(新神野地区)はこんな所:

河川名	1級河川加古川水系加古川左岸9.4K~11.2K
所在地	兵庫県加古川市新神野地先
アクセス	JR神野駅から徒歩20分
面積	115,000m <sup>2</sup>
管理者	加古川市
特徴	本緑地は加古川を代表する河川公園で、多くの市民が散歩等に利用しています。特に犬の散歩場所として人気があります。
主な利用	つり、散歩、ジョギング、バーベキュー
点検参加人数	20名



■平成18年現在の成績表 総合的な成績:

☆☆☆(三つ星)

かなり良い部分があり、一定の満足感が味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備必要 %	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に 重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか		○		15%			○	
2	水はきれいですか		○		28%			○	
3	流れている水の量は十分ですか		○		15%			○	
4	ゴミがなくきれいですか		○		45%			○	
5	危険な場所がなくて安全ですか		○		15%			○	
6	景色はいいですか		○		0%			○	
7	歴史・文化を感じますか		○		0%			○	
8	堤防や河川敷には、近づきやすいですか		○		10%			○	
9	水辺へ入りやすいですか			○	40%			○	
10	広場は利用しやすいですか		○		10%			○	
11	休憩施設や木陰は十分ですか			○	80%		○		
12	散歩はしやすいですか	○			5%			○	
13	トイレは使いやすいですか		○		21%			○	
14	案内看板はわかりやすいですか		○		21%			○	
15	駐車場は使いやすいですか		○		5%			○	

良い点

悪い点

■特に良い点:

- ・ 駐車場があって利用しやすい。
- ・ 緑が多く、景色がよい。
- ・ 草刈りなどの手入れがされており、気持ちがいい。

■特に悪い点:

- ・ 陰が少ない。
- ・ 利用者のマナーがよくない(犬のフン、ゴミなど)。
- ・ 水辺に近づける箇所がほしい。

■総合コメント:

整備と自然がバランス良く調和しており、利用しやすい環境になっています。  
5つ星にするためには休憩施設の整備に加え、水辺に入りやすい工夫や利用者のマナー向上が必要です。

図 7.5-5 新神野地区の「川の通信簿」

(出典:資料 7-8)

## 7.6 まとめ

### (1) 堰と周辺地域との関わりのまとめ

加古川大堰は、加古川市内の都市域に位置しながら、広大な静水面を有し、貯水池の利用や散策など、地域の日常空間として有用な場を提供している。

特に貯水池は漕艇場(公認コース)として多くの利用が行われるとともに、加古川大堰の上流部には、加古川をレガッタのメッカにしていこうとの目的で設置された「加古川市立漕艇センター」があり、地域のイベントも数多く開催されるなど、「交流の場」、「憩いの場」、「河川との触れ合いの場」として地域に貢献している。

また、地元の教育機関と連携し、小中学校の見学会を実施するなど、総合学習の場としての役割も果たしている。

しかし、見学会では「こんなところがあるのは知らなかった」という感想があったり、警報(サイレン)に対する苦情がくることも見受けられ、堰完成後以降に転入してきた住民が増加するにつれ、地域住民の加古川大堰への関心や治水・利水への役割、知名度は薄れる傾向にあると考えられる。

### (2) 今後の方針

引き続き、地域のイベントや漕艇などの場として利用に配慮しつつ、快適な利用が損なわれないよう維持管理を行っていく。

また、地域住民の加古川大堰への関心が薄れつつあると言う現状を踏まえ、イベントなど他の事例を参考にして加古川大堰の地域への貢献を広報する方法を検討するなど、地域への情報発信のあり方についての検討を行っていく。

## 7.7 文献リスト

表 7.7-1 「7.堰と周辺地域との関わり」に使用した文献・資料リスト

NO.	文献・資料名	発行者	発行年月	引用ページ・箇所
7-1	国勢調査結果(加古川市、高砂市の人口・世帯数・産業別就業人口)兵庫県ホームページ ( <a href="http://web.pref.hyogo.jp/ac08/ac08_1_000000288.html">http://web.pref.hyogo.jp/ac08/ac08_1_000000288.html</a> )	(兵庫県)	-	7.1.1 堰周辺地域の概況 (2)人口 (3)産業
7-2	パンフレット「加古川」	姫路河川国道事務所	-	7.1.2 堰の立地特性 (2)周辺の観光施設(スポット)等の状況
7-3	加古川大堰工事誌	近畿地方建設局姫路工事事務所	平成5年3月	7.2 堰事業と地域社会情勢の変遷 7.4.1 周辺環境整備等の状況
7-4	加古川市ホームページ ( <a href="http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/index.cfm/1.html">http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/index.cfm/1.html</a> )	加古川市	-	7.3.1 地域における堰の位置(2)わがまち加古川 50 選
7-5	加古川市総合計画	加古川市	平成18年3月	7.3.1 地域における堰の位置づけに関する整理
7-6	パンフレット「加古川大堰電気通信施設の概要」	姫路河川国道事務所	-	7.4.1 堰周辺整備等の状況(写真のみ)
7-7	河川空間利用実態調査結果	姫路河川国道事務所	平成12年度、平成15年度、平成18年度	7.5.1 河川空間利用実態調査結果
7-8	姫路河川国道事務所ホームページ ( <a href="http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/">http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/</a> )	姫路河川国道事務所	平成18年度	7.3.2 地域と堰管理者の関わり (3)地域への情報提供 7.5.2 川の通信簿